



『雇用企業インタビュー』



ASKUL LOGIST株式会社

西日本物流事業本部 福岡物流センター



副センター長 坂井 博基 氏

今回ご紹介する ASKUL LOGIST 株式会社 西日本物流事業本部 福岡物流センター様は、会社と障がいのある方だけでなく、家族・学校・支援機関・医療機関など地域社会と連携した支援体制をとることによって障がいのある方を戦力として雇用し、特別支援学校の卒業生も多く採用いただいています。その障がい者の雇用の状況を、副センター長 坂井 博基 氏にお話いただきました。

■ ASKUL LOGIST 株式会社 西日本物流事業本部 福岡物流センターとは？

ASKUL LOGIST 株式会社 は、オフィス用品などの通販会社であるアスクル株式会社の100%出資の子会社です。主な事業内容は、物流事業と配送事業になります。福岡物流センターは、九州全域と中国地方の一部を担当している物流拠点になります。

■ 障がい者雇用の経緯についてお聞かせください。

会社が立ち上がったのが2009年5月で、私（坂井氏）は2009年10月に入社しました。当然のことですが、会社の事業規模が大きくなっていく中で、ある一定数の従業員を抱えることになったので、法定雇用率を守るために障がい者雇用を進めていったのが始まりです。

障がい者スタッフの雇用状況

■ 福岡物流センター

従業員数：300 名程度

内、障がい者スタッフ 56 名

知的障がいの方・・・8割ほど

精神（発達障がい）障がいの方・・・2割ほど

身体障がいの方・・・1 名

■ 特別支援学校卒業生の採用を始めた経緯についてお聞かせください。

「法定雇用率を満たすために3人雇い入れる」と決めてすぐ、たまたま難聴の男性が入社しました。補聴器をつけてほかの人と同じ仕事に就きましたが、わずか3か月で辞めてしまいました。理由は、「他県へ引っ越すから」でした。ところが1か月後に、会社の前を自転車で通る彼の姿を見かけました。退職理由は、転居でなかったことに気づきました。3人雇えばいいと簡単に考えていたけれど、ほかの人と同じ雇い方ではいけない、考え方を改めなければ、と思いました。「30人でも雇えるような仕組みを作りたい」と考えて、行動しました。まずは、障がい者のことを知りたいと思い、社内のリーダーに声をかけて総勢10人で、「博多高等学園」の学内実習の様子を見学しました。その帰り際に学校から実習依頼があり、もっと知りたいと思い、実習を引き受けることになりました。その年に特別支援学校2校から5名の採用を決めました。その後は、毎年採用を行っており、口コミで応募する方も増えてきている状況です。

## ■ 求める人物像（面談や実習で評価をするところ）とは？

また、これも特徴的なのが、実習した人がほぼ全員入社しています。面接で不採用になった方はありません。ただし、どなたでも良いというわけではなく、会社と学校で、実習を通じて働くことができる状態に育てるイメージです。育て方はいろいろなパターンがあって一概には言えませんが、作業面で工夫する場合がありますし、思考力を養う工夫をする場合もあります。実習にきて最初の日には棚にたどり着かない人や、数を数えられない人も沢山います。でも実習を通じてそういうことができるようになっていく。かけ算や、割り算ができなくてもいつの間にか当たり前にかけ算や割り算ができていきます。

一番重要視しているのは「この会社で働きたい」を理由付きで言えることです。



↑ピッキング作業のようす

## ■ 障がいのある方の仕事内容はどのようになっていますか？

仕事内容は健常者の方と変わらず、フォークリフト業務以外のすべての作業を行っています。

最初は、全員にピッキング作業を経験してもらいます。仕事の【MUST】を覚えてもらい、その中でより良い結果が出るように取り組んでもらいます。次に、いろんな業務を経験して、【CAN】を増やしてもらいます。

いろんなことが出来るようになって、自信をつけてもらい、今後のやりたいこと【WANT】を考えてもらいます。幅広い視野をもてる様にしていくことを意識しています。その上で長期的なキャリア形成を検討します。個別に状況も異なりますので、それぞれに対応を変えていくことも大事になります。

### 障がい者スタッフの仕事内容

ピッキング、梱包  
棚補充、入荷、事務 など

※ フォークリフト業務以外のすべてが対象

## ■ 就労後のフォローについて（定着支援）お聞かせください。

コロナ禍の状況もあり、会議など開くことができない状況が続いていますが、入社して1年間は年に数回ほど支援会議を行い、支援機関やご家族にもリモートで参加いただいています。それ以外では毎日、反省会を実施しています。状況を見て、落ち着いてきたら反省会の頻度を減らしていきます。それらをとおして自己理解を深めていきます。なにか



問題があったときにすぐフォローできるような状況を作っておきます。

仕事を教えるために指導員などは配置していません。すべて周りのスタッフで教えていくようなやり方をしています。

## ■ 周りの社員の方への影響はありますか？

意思疎通を図るのが難しい所もあるので、何気ない会話をするときにも、相手に伝わりやすい工夫をすることが当たり前になります。そうすることで、周囲の社員のコミュニケーション能力が上がっていくようなことがあります。

← 入荷作業（仕分け）のようす

## ■ 就労まで身につけておきたい力はありますか？

社外で話をするときは、①公共機関を使えるようにする。②働ける体力を身につける。③挨拶ができる。④働き続けたい意欲がある。⑤謝ることができる。⑥素直に人の話をきくことができる。⑦感謝することができる。⑧向上心がある。⑨ルールを守ることができる。⑩報告・連絡・相談ができる。としています。

これらも大事ですが、それ以上に仕事が好きかどうかだと思っています。好きなことは、いつか上達すると思っています。今回頂いたアンケート内容は本人達にもよく聞いています。聞く中で何が本当に好きなのかということを考えてもらっています。この仕事が好きなので、自信がついて、いろんなことができるようになっていっていると感じています。

## ■ 就労支援の在り方についてどのように思われますか？

今年実習を行った生徒を見ていると、昨年度までの生徒に比べ経験が浅い、自信がない人が増えているように思えます。また他の企業をよく知らない人が多いです。この傾向が続くと、ミスマッチが増えて離職につながるが増えるのではないかと思います。学校やご家庭で、将来の就職について考え方や支援の方法を見直した方がよいと思います。

2021年度はこれまで受けることがなかった2年生の実習依頼もありました。受入れは問題ないですが、時期として正しかったかは疑問が残ります。他社も見学や実習をして選択するのであれば良いですが、他に選択肢のない一択になってほしくありません。

(これまでは、2年生までに他社をみて、3年生で弊社を経験して、学生が選ぶことができていた)

Zoomなどで行うなど、コミュニケーションをとることを、対面にこだわらず、リモートを起点とするとキャリア教育が進み始め、次のステップになっていくのではないかと思います。



ASKUL LOGIST株式会社 西日本物流事業本部 福岡物流センター

## 就労者 アンケート

### ■ 質問1 いつ頃から働きたいと思いましたか？ また、働きたいと思ったきっかけは何ですか？

- これまでの実習をとおして、倉庫内作業が僕に一番向いているかなと思い、倉庫内で働きたいと思った。
- 最初の実習をやってみて、ピッキングが楽しそうだから入社してみたいと思いました。また、この会社はピッキングだけでなく色々な仕事もあって、おもしろそうだったからです。
- 高校の時に実習を行ってピッキングの作業をしてみたいと思いました。続けていくことができると思ったからアスクルさんにしました。
- 2回目の実習の時から就職したいと強く思っていました。実習に行かせていただいた中でもアスクルのお仕事が一番自分にとってやりがいを感じたので入社したいと思いました。最初、Bグループでの作業がとてもやりやすく周りの方が優しく声をかけて下さったおかげで安心してアスクルさんで働きたいと思いました。
- 高校3年生くらいから働きたいと感ずることがありました。入社前に、一時期、洗車のアルバイトをしていて給料をいただく喜びをきっかけに働きたいと思いました。
- 高校から働きたいと思いました。小学校の頃に見学に来て先輩方が働いている姿を見て将来、こんな感じの人になりたいと思い、働きたいと思いました。

## ■質問2 仕事でがんばって、出来るようになったことはなんですか？

- ・ かけ算が出来るようになりました。
- ・ 職場の人たちと会話をする事。
- ・ ミス(数量違い)がほぼなくなったことです。
- ・ どの作業もたくさん覚えてシェアが出来たことです。今はBグループでのピッキング、DPS、梱包が出来るようになり、キャプテンから任されるようになりとても嬉しいです。
- ・ 報告、連絡、相談が出来るようになったこと。あいさつや返事が出来るようになったこと。ミスを認めることができるようになったこと(クレームなど)。メモをして理解出来るようになったこと。体調管理が出来るようになったこと。年上の方やリーダーさんとコミュニケーションが出来るようになったこと。自分から進んで仕事が出来ようになったこと。

## ■質問3 仕事をしていて大変なことはどのようなことですか？ 克服するためにどんな努力をしていますか？

- ・ 棚入れです。仕事が慣れたことで、新しい作業になりましたが、棚入れ作業はむずかしく、時にはミスが多く怒られてしまいましたが、一つ一つ覚えて、難しい作業が出来るようになりました。
- ・ ミスをしないで仕事をする事が大変なことです。そのために2回確認をしていることです。
- ・ クレームを気にしすぎて作業スピードが遅い時がありましたが、品物の数のチェック回数を1、2回行いスピードを意識して仕事をしています。
- ・ 月初めの日などにピッキングを早くするとミスをする事がわかりました。なのでピッキングをゆっくりすることでミスを減らせる事がわかりました。
- ・ 仕事場のスタッフとコミュニケーションをとることです。そのために報告・連絡・相談を継続して慣れるようにしています。

## ■質問4 仕事をしていて楽しいことはなんですか？

- ・ 考えることです。例えば、重たい商品を棚の一番上に置いてしまうと、次のスタッフが、おろす時にケガをしまうので、棚の一番下に置くと、取りやすくケガをしないなど次のスタッフが作業をやりやすいようにするなど、考えることが楽しいです。
- ・ 梱包のときに、どの箱がバランスよく最良か、自分の頭で考えたり、実験してみてから、実際に梱包することです。
- ・ やりがいがあること
- ・ 仕事しながら現場のスタッフ、同期、後輩とのコミュニケーションのやり取りをしつつやっています。
- ・ 梱包で段ボールが丁度良かった時。仕事の合間に話をしている時。

## ■質問5 お休みの日の楽しみはなんですか？

- ・ 休みは、1人で映画鑑賞をキャナルシティ博多やMARK IS 福岡ももちで行うことです。
- ・ 楽しみは、サッカーの練習です。
- ・ いろいろ
- ・ 家でごろごろすること(兄とゲームをしたり、音楽を聴いたり、YouTubeを見ること、寝たり、通話をしたり)お給料で買い物をする事(欲しい物)。お散歩やウォーキングをすること。

## 書籍紹介

仕事に行ってきます⑨ 物流センターの仕事 右京さんの1日

発行所:社会福祉法人埼玉福祉会 出版部

福岡物流センターでの仕事の様子が紹介されています。ご興味のある方はぜひご覧ください。



## 福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜 2 丁目 1-6

【TEL】092-845-0015 【FAX】092-845-0025

【E-mail】yume\_network@city.fukuoka.lg.jp

【HP】<http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

